

【四人の男】 作詞／作曲 土田りかこ

四人の男が 狭い酒場の止まり木で
四つのグラスに 影落とす

三十代の男のグラス 冷えたギネスの水滴は
昨日渡したダイヤのリング やっと彼女はニンマリ
恋の行方はギネスのグラス 象牙の肌の下は闇
住所も聞かずに貢いだ指輪 今頃質屋の蔵の中

四十代の男のグラス 煽(あお)り煽られズブロッカ
稼ぎ頭のはげタカファンド 家も車も超セレブ
ちょっと危険な香りのグラス 欲に絡んだインサイダー
妻が入れたか内ポケットの 離婚届が 値上がりだ

五十半ばの男のグラス 薄いお湯割り 芋焼酎
最後は部長と思ったけれど 課長止まりでリストラ
明日を気にして梅干入れて 敷居は高い職探し
親の介護とニートの息子 子連れで娘も出戻った

七十(しちじゅう) 近い男のグラス 琥珀色濃いブランディー
友を見送り妻を見送り 気ままも寒い世捨て人
酒場にしみたタバコの香り 懐かしむよにグラスを回す
流した浮名は忘れぬけれど 思い出せない 昨日の晩飯

四人の男が 狭い酒場の止まり木で
四つのグラスに 定め身を焼く酒場